

事業報告

2023年度は、計画した健診事業、普及啓発事業、健康増進事業等を、ほぼ予定どおり実施した。健診受診者数の著しい減少を招いた新型コロナウイルス感染症の影響はほぼなくなったが、受診者の感染予防や確実な事業実施のため、感染防止対策を適切に行いつつ事業を推進した。

集団健診は、一部の検診を除き総じて受診者数が減少した。健診実施市町村数、事業所数に大きな変化がないため、人口減少の影響が考えられるが、コロナ蔓延下の当時、市町村等が健診を一時中止または延期したことや、感染を心配した住民が受診を控えたことなどから、健診受診意欲の低下も懸念されるところである。

施設健診は、女性の日の設定や積極的な受診勧奨など、受診しやすい環境整備に取り組んだ結果、受診者数が増加した。

情報処理等事業は、特定健康診査、医療機関等実施検診ともに前年度と同程度の処理件数となった。

特定保健指導事業は、利用しやすい事業所訪問型の特定保健指導を勧めるなどにより、実施人数が増加した。また、健康増進事業では、機会をとらえて健康づくり教室の開催などを呼びかけ、地域や職域の健康づくりを支援した。

事業団運営に大きな影響を及ぼすと考えられる少子高齢化人口減少、物価高騰などの社会情勢下、高品質な保健サービスの持続的な提供を使命とする事業団として、受診環境の整備、働きやすい職場環境の整備を適切に進めながら、業務の効率化や経費の節減等に取り組んだ。

具体的には、胸部検診車、循環器検診車、健診機材の更新、昇降機の設置や自動扉の更新等健康センター施設などハード面の整備、また、業務の効率化を図りつつ正確な健診や効果的な保健指導を行うため、現場情報収集（ハンディ健診）や健康支援のシステムを構築するなどソフト面の整備も進めた。

管理業務においては、公益財団法人として正確性を確保し信用度を高めるため、財務に関する外部の公認会計士の検査を定期的に行ったほか、給与事務の処理効率を上げながら経費削減を図るため、給与明細書、源泉徴収票等の発行や諸手当の申請等のシステムを構築した。

I 普及啓発事業

1 イベント・行事

（１）健（検）診担当者説明会の開催

市町村及び事業所の健（検）診担当者を対象に説明会を開催し、次のとおり講演と2024年度に向けた健（検）診及び健康増進・保健事業等の取り組みについて説明し

た。

日 時 2023年10月25日（水）

場 所 松本市浅間温泉文化センター（参加者95名）

講 演 演題 「がん検診の受診率向上へ 全国取り組み分析から」

講 師 公立大学法人 静岡社会健康医学大学院大学 教授 山本精一郎 先生

（２）第39回信州婦人健康のつどいの開催

結核等感染症の予防知識を習得するとともに、各婦人団体相互の連携による健康づくりに向けた活動を推進するため、長野県などとの共催により次のとおり実施した。

日 時 2023年10月23日（月）

場 所 ANCアリーナ（安曇野市総合体育館）メインアリーナ（参加者165名）

共 催 長野県、結核予防婦人会長野県連合会、長野県連合婦人会

講 演 演題 「疲労の正体 ～こころとからだの整え方～」

講師 公益財団法人長野県健康づくり事業団

保健師 竹村 太一 先生

このほか、参加者全員による体操、踊り等を行った。

（３）全国大会への参加

ア 公益財団法人結核予防会（以下「結核予防会」という。）主催の全国大会に参加した。

開催日 2024年3月14日（木）～3月15日（金）

開催場所 リーガロイヤルホテル東京

大会テーマ 「低まん延における結核対策-パンデミックの経験を踏まえて-」

イ 公益財団法人日本対がん協会（以下「日本対がん協会」という。）主催のがん征圧全国大会に参加した。

開催日 2023年9月8日（金）

開催場所 山口県山口市

大会テーマ 「維新の地からひろげよう 新たながん対策」

（４）リレー・フォー・ライフジャパン信州長野への協力

長野市で開催した「リレー・フォー・ライフ・ジャパン 2023信州長野」に、日本対がん協会長野県支部として支援をした。

（５）信州がんプロジェクトへの協力

abn長野朝日放送と協賛各社が取り組む「信州がんプロジェクト」の番組制作に協力した。

２ 広報紙・ポスター等の配布

（１）結核予防会が作成した結核予防週間ポスター、啓発パンフレット・冊子などを市町

村・医療機関等関係機関に配布し周知を図った。

結核予防週間ポスター 2,285枚

結核の常識 2,380部

複十字 300冊

- (2) 全国結核予防婦人会が作成した冊子を健（検）診実施主体や関係機関等に配布した。

健康の輪 1,110冊

- (3) 日本対がん協会が作成したがん征圧月間ポスター、啓発パンフレット・冊子などを市町村・医療機関等関係機関に配布し周知を図った。

がん征圧月間ポスター 1,760枚

対がん協会報 600部

3 マス・メディアの活用・協力

- (1) 啓発広告の掲載

新聞各紙に啓発広告を掲載し、がん予防や結核予防に関して県民の意識の高揚を図った。

がん征圧月間に関する掲載

9月1日（金）信濃毎日新聞

- (2) ラジオ放送

長野県医師会が作成し、毎週日曜日に放送しているSBC信越放送の「こんにちはドクター」に協賛した。

- (3) 有線放送

長野市南部を放送エリアとする更北有線放送の「みんなで進める健康づくり」の企画に「健診から始める健康づくり」をテーマとして、年間6回の放送に協力した。

4 関連団体との連携

結核予防会及び日本対がん協会

長野県支部として健（検）診事業及び普及啓発活動等を行うにあたり会議等に参加し、各支部との意見交換を行った。

結核予防婦人会長野県連合会

結核予防推進のため、事務局として会の育成に努めるとともに活動を支援し、複十字シール運動への協力など、結核の知識普及啓発及び最新情報等の収集を行った。

5 表彰

結核予防・生活習慣病予防功労者表彰

永年に亘り結核予防・生活習慣病予防に貢献された功労者に対し、理事長表彰を行った。

受賞者 山口 裕通 氏（長野市）

推薦者 一般社団法人長野市医師会

受賞理由 胃集団検診読影において、平成4年4月から現在までの31年間もの永きにわたり「長野市医師会胃集団検診読影委員会」委員として読影を行い、数多くの早期胃がんの発見に貢献された。また、本委員会において読影し発見された胃がん症例を発表する症例供覧会に参画する等、読影技術の向上に努め胃がん予防に寄与した功績は顕著である。

受賞者 中村 潔 氏（長野市）

推薦者 一般社団法人長野市医師会

受賞理由 胃集団検診読影において、平成4年4月から現在までの31年間もの永きにわたり「長野市医師会胃集団検診読影委員会」委員として読影を行い、数多くの早期胃がんの発見に貢献された。また、本委員会において読影し発見された胃がん症例を発表する症例供覧会に参画する等、読影技術の向上に努め胃がん予防に寄与した功績は顕著である。

受賞者 武田 毅 氏（長野市）

推薦者 一般社団法人長野市医師会

受賞理由 長野市が平成6年より開始した肺がん検診に読影において、平成6年4月から現在までの29年間もの永きにわたり「長野市医師会肺がん検診読影委員会」の委員として読影を行い、数多くの早期肺がんの発見に貢献された。また、本委員会において読影し発見された肺がん症例を発表する症例供覧会にも参画する等、読影技術の向上に努め肺がん予防に寄与した功績は顕著である。

受賞者 山田 祐司 氏（長野市）

推薦者 一般社団法人長野市医師会

受賞理由 長野市が平成6年より開始した肺がん検診に読影において、平成6年4月から現在までの29年間もの永きにわたり「長野市医師会肺がん検診読影委員会」の委員として読影を行い、数多くの早期肺がんの発見に貢献された。また、本委員会において読影し発見された肺がん症例を発表する症例供覧会にも参画する等、読影技術の向上に努め肺がん予防に寄与した功績は顕著である。

受賞者 横沢 伸 氏（白馬村）

推薦者 白馬村長

受賞理由 昭和60年に横沢医院を開業以来、村が実施する保健予防事業に積極的に尽力いただいている。特に、特定健診・がん検診をはじめとする村の保健予防事業の効果的な推進のため、多大なるご協力をいただいた。また、村で行っている胃検診では、長年にわたり読影医として胃がん等の早期発見に貢献している。現在も村の検診等の委託を受け、市民の健康を守るため、検診業務をはじめ保健予防事業等に積極的に取り組んでいただいている。

6 募金活動

（１）事業団会員

会員は、日本対がん協会の維持会員を兼ね、がん征圧運動の推進にあたっては、会員に対がん協会報及びパンフレット等の送付を行い、がん予防の知識普及を図った。

個人会員 191人 （年会費 1,500円以上）

団体会員 18団体 （年会費 5,000円以上）

名誉会員 9人 （事業団の活動に功績のあった者、又は10万円以上の寄附を行った者）

（２）複十字シール募金事業

結核や肺がんその他の呼吸器疾患をなくし、健康で明るい社会をつくるための事業資金の確保と、これらの病気に対する知識の啓発と予防知識の高揚を図るため、結核予防会が実施する複十字シール募金活動に協力した。

募金額 2,277,252円

7 協議会・委員会等への参加

地域、事業所等の協議会・委員会の保健分野において、健康に関する専門・支援機関として委員を派遣した。

長野県がん対策推進協議会

長野県がん検診検討協議会

長野県健康づくり推進県民会議

長野市食育推進審議会

佐久地区地域職域保健連携推進協議会

長野圏域地域保健・職域保健連絡会議

上伊那郡市保健師連絡協議会

Ⅱ 健診等事業

1 集団健診事業

(1) 結核検診

市町村、事業所及び施設の委託等を受け、胸部X線デジタル撮影による検診を検診車10台で実施し、受診者数は前年度比較で9,325人減少した。

(人)

区 分	市町村	事業所	学生	施設	2023年度	2022年度	前年度比較
デジタル撮影	32,749	40,188	18,448	12,139	103,524	112,849	91.74%
検診日数	198	655	158	149	1,160	1,291	89.85%

(実施市町村数 30)

(2) 肺がん検診

市町村及び事業所の委託等を受け、胸部エックス線デジタル撮影（結核検診に使用する検診車10台共用）にハイリスク者の喀痰細胞診を併用する方式による肺がん検診と、肺がんCT検診をらせんCT検診車1台で実施した。

エックス線検査による受診者数は、前年度比較で327人減少した。肺がんCT検診は前年度比較で681人減少し、喀痰検査を含めた肺がん検診合計は、前年度比較で568人減少した。

(人)

区 分	市町村	事業所	2023 年度	2022 年度	前年度比較
X線検査 デジタル	41,618	26,098	67,716	68,043	99.52%
	検診日数	269	389	658	98.80%
	要精検数	1,014	234	1,248	88.07%
	要精検率	2.44%	0.90%	1.84%	2.08%
喀痰検査	447	171	618	859	71.94%
	要精検数	0	0	0	1
	要精検率	0.00%	0.00%	0.00%	0.12%
C T 検査	14,783	63	14,846	15,527	95.61%
	検診日数	156	1	157	158
	要精検数	481	5	486	486
	要精検率	3.25%	7.94%	3.27%	3.13%
受診者合計	56,848	26,332	83,180	84,429	98.52%
検診日数	425	390	815	824	98.91%

(実施市町村数 X線検査 37、C T検査24)

要精検者数は、国の指針によりD判定（肺がんを除く疾患疑い）を除き、E判定（肺がんの疑い）のみ記載。

（３）特定健康診査・一般健康診断

市町村国保の委託を受けた特定健康診査、事業所等の委託を受けた一般健康診断及び特殊健康診断を循環器健診車８台と一部ワゴン車による機器の持込で実施した。

市町村における特定健康診査は微減が続いているが、ほぼ計画どおり実施した。

前年度比較で特定健康診査では386人微減、一般健康診断では428人微減となった。

（人）

区 分	特定健康診査			一般健康診断		
	2023年度	2022年度	前年度比較	2023年度	2022年度	前年度比較
受診者数	23,390	23,776	98.38%	75,103	75,531	99.43%
心電図	18,845	19,068	98.83%	59,284	60,219	98.45%
眼 底	8,541	8,530	100.13%	20,570	20,434	100.67%
肝炎ウイルス	2,935	2,967	98.92%	4,218	4,073	103.56%

（実施市町村数 20）

市町村の協力のもと、市町村国保特定健診の会場で社会保険等加入者890人の特定健診を実施した。

一部事業所では一般健康診断に併せて、有機溶剤、特定化学物質等の業務に従事する労働者に対する特殊健康診断をのべ13,057人実施した。

（４）学校心臓検診

市町村教育委員会の委託を受け、児童・生徒の学校心臓検診を循環器検診車又は心電計を持ち込み校舎内で検査を行う方法で実施した。

2023年度は、新型コロナウイルス感染症の影響はほぼ解消され、高校の通信制（秋入学）の検診を除き、学校保健安全法施行規則で定められている６月末でおおむね終了することができた。

受診者数は、児童・生徒の減少により前年度比較で198人減少した。

（人）

区 分	小学校	中学校	高校等	教職員	2023年度	2022年度	前年度比較
心電図	13,739	7,491	8,536	794	30,560	30,758	99.4%

（実施学校数：小学校158、中学校70、高校等49、小中一貫校5、中高一貫校5
支援学校1、計288校 高校等には養護6・盲1・ろう1の各学校を含む。）

（５）胃がん検診

市町村及び事業所の委託を受け、検診車７台（全車デジタル装置搭載）でX線検査（バリウム検査）を実施した。

受診者数は、前年度比較で6,431人の減少となった。

(人)

区 分	市町村	事業所	2023 年度	2022 年度	前年度比較
受診者数	20,545	10,613	31,158	37,589	82.89%
検診日数	575	817	1,392	1,498	92.92%
要精検数	1,375	646	2,021	2,666	75.81%
要精検率	6.69%	6.09%	6.49%	7.09%	△0.60%
※基幹システム外	428	565	993	1,154	86.05%
胃検診受診者数	20,973	11,178	32,151	38,743	82.99%

(実施市町村数59)

※ 基幹システム外はX線撮影のみで、読影及び結果処理は行わない。

(6) 大腸がん検診

市町村及び事業所の委託を受けて、免疫学的便潜血検査2日法を実施した。

また、一部市町村が医療機関で実施する検診の検査及び結果処理を実施した。

受診者数増を目的として、他の健（検）診実施時や別日を設けた回収なども継続実施したが、受診者数は、前年度比較で3,321人減少した。

(人)

区 分	市町村	事業所	2023年度	2022年度	前年度比較
2日法受診者数	63,024	25,057	88,081	91,402	96.37%
要精検数	3,644	1,046	4,690	5,039	93.07%
要精検率	5.78%	4.17%	5.32%	5.51%	△0.19%

(実施市町村数42)

(7) 乳がん検診

市町村及び事業所の委託を受けて、視触診・超音波検査を検診車2台（うち1台は超音波装置2台搭載）で実施した。国の乳がん検診の指針で視触診は推奨しない検診になっているが、一部の市町村と事業所では視触診を実施した。今後も継続して県医師会乳がん検診小委員会の指導のもと、地元医師会の協力を得て、超音波検査を全員に実施する超音波単独検査への移行を進める。

視触診・超音波検査の受診者数は、視触診を行う実施主体が一村のみとなり、視触診・超音波検査は99人減少し、新規に超音波単独検診を行う事業所があったが、2事業所で検診を休止したため、超音波単独検査も256人減少した。

マンモグラフィ検査は、市町村、事業所の委託を受けて、MLO（内外斜位方向）とCC（頭尾方向）の2方向撮影を検診車3台（全車デジタル装置搭載）で実施した。受診者数は、前年度比較で286人減少した。

(人)

区 分	市町村	事業所	2023年度	2022年度	前年度比較
視触診検診受診者数	55	0	55	154	35.71%
超音波併用件数	55	0	55	154	35.71%
検診日数	2	0	2	6	33.33%
要精検数	1	0	1	1	100%
要精検率	1.82%	—	1.82%	0.65%	1.17%
超音波単独検診受診者数	14,764	2,995	17,759	18,015	98.58%
検診日数	409	107	516	523	98.66%
要精検数	297	83	380	359	105.85%
要精検率	2.01%	2.77%	2.14%	1.99%	0.15%
マンモグラフィ検診	19,706	1,315	21,021	21,307	98.66%
検診日数	524	104	628	667	94.15%
要精検数	1,301	102	1,403	1,445	97.09%
要精検率	6.60%	7.76%	6.67%	6.78%	△0.11%
受診者合計	34,525	4,310	38,835	39,476	98.38%
検診日数	935	211	1,146	1,196	95.82%
要精検数	1,599	185	1,784	1,805	98.84%
要精検率	4.63%	4.29%	4.59%	4.57%	0.02%

(実施市町村数 視触診・超音波検診 49、マンモグラフィ検診55)

※マンモグラフィ検査の事業所の検診日数では、センター実施分を除き集計している。

(8) 子宮頸がん検診

市町村及び事業所の委託を受けて、頸部細胞診を検診車2台で実施した。

受診者数は、前年度比較で34人減少した。

(人)

区 分	市町村	事業所	2023年度	2022年度	前年度比較
受診者数	10,767	3,270	14,037	14,071	99.76%
検診日数	217	68	285	296	96.28%
要精検数	135	44	179	169	105.92%
要精検率	1.25%	1.35%	1.28%	1.20%	0.08%

(実施市町村数 51)

(9) 前立腺がん検診

市町村の特定健診や事業所の定期健診で、問診と血液検査（PSA法）により、原

則として50歳以上の男性を対象に実施した。

また、実施主体から要望のあった場合は単独検診として実施した。

受診者数は、前年度比較で438人増加した。

(人)

区 分	市町村	事業所	2023年度	2022年度	前年度比較
受診者数	9,008	4,544	13,552	13,114	103.34%
要精検数	641	259	900	735	122.45%
要精検率	7.12%	5.70%	6.64%	5.60%	1.04%

(実施市町村数 17)

(10) 骨健診

市町村、事業所の委託を受けて、超音波による踵骨の骨密度測定を実施した。

受診者数は、前年度比較で市町村は577人増加したが、事業所は41人減少し、全体では536名の増加となった。

(人)

区 分	市町村	事業所	2023年度	2022年度	前年度比較
受診者数	3,132	2,313	5,445	4,909	110.92%
健診日数	37	75	112	133	84.21%
要精検数	513	159	672	650	103.38%
要精検率	16.38%	6.87%	12.34%	13.24%	△0.90%

(実施市町村数 15)

(11) ストレスチェック事業

労働安全衛生法に基づき、労働者の心理的負荷の程度を把握するための検査「ストレスチェック」を事業所の委託を受けて実施した。

受託団体数は、前年度より4団体増加したが、受検者数は464人減少した。

区 分	2023年度	2022年度	前年度比較
受託団体数	82	78	105.13%
受検者(人)	8,279	8,743	94.69%

(12) 2022年度のがん検診事業による発見がんの状況

各種がん検診で発見されたがん症例について、県医師会、手術医療機関などの協力を得て追跡調査を実施し、検診精度の向上に努めた。

(人)

区 分		2022年度発見がん数			2021年度発見がん数		
		受診人員	発見率		受診人員	発見率	
肺がん検診	X線	15	49,584	0.03%	30	49,290	0.06%

※1	らせんCT	30	15,527	0.19%	29	14,834	0.20%
胃がん検診	※2	47	37,589	0.13%	40	39,775	0.10%
大腸がん検診		145	91,402	0.16%	157	88,460	0.18%
乳がん検診	視触診＋超音波	0	154	0.00%	0	1,393	0.00%
	超音波単独検診	24	18,015	0.13%	20	17,423	0.11%
	マンモグラフィ	50	20,264	0.25%	64	21,154	0.30%
子宮頸がん検診		1	14,071	0.01%	1	14,447	0.01%
前立腺がん検診	※3	－	13,114	－	49	12,069	0.41%
合 計		312	259,720	0.12%	390	258,845	0.15%

※1 市町村実施の結果通知分のみ

※2 読影実施分のみ

※3 2022年度発見がん数は調査中

(13) がん検診の精密検査受診勧奨

伊那市の委託を受けて、各種がん検診の精密検査受診勧奨事業を実施した。

厚生労働省が示す精度管理指標の精密検査受診率の許容値〔胃がん・大腸がん・肺がん・子宮頸がんの各検診は70%、乳がん検診（マンモグラフィ検査）は80%〕を上回った。

(人)

区 分		2023度	2022年度
胃 が ん	要 精 検 者 数	37	99
	精検受診者数	31	77
	精 検 受 診 率	83.78%	77.78%
大腸がん	要 精 検 者 数	200	254
	精検受診者数	159	206
	精 検 受 診 率	79.50%	81.10%
前立腺がん	要 精 検 者 数	76	64
	精検受診者数	53	46
	精 検 受 診 率	69.74%	71.88%
乳がん（マンモグラフィ）	要 精 検 者 数	55	102
	精検受診者数	52	102
	精 検 受 診 率	94.55%	100.00%

乳がん（超音波）	要 精 検 者 数	14	23
	精検受診者数	12	21
	精 検 受 診 率	85.71%	91.30%
子宮頸がん	要 精 検 者 数	38	39
	精検受診者数	30	34
	精 検 受 診 率	78.95%	87.18%

（巡回検診分のみ記載 2024年4月現在の間接報告）

（14）精度管理の取り組み

ア 各種委員会活動

検診・健康診断事業の実施にあたっては、次の専門委員会等において医学的事項等に関する検討、指導を受け、検診精度の向上と事業の円滑な推進に努めた。

長野県主催

- ・長野県がん対策推進協議会
- ・長野県がん検診検討協議会

長野県医師会主催

- ・がん検診検討委員会
- ・消化器検診小委員会
- ・郡市医師会消化器検診委員長会議
- ・乳がん検診小委員会
- ・郡市医師会乳がん検診委員長会議
- ・肺がん検診小委員会
- ・郡市医師会肺がん検診担当理事会議
- ・心臓検診検討委員会

長野県健康づくり事業団主催

- ・健康診査検討委員会
- ・肺がんCT検診読影運営委員会
- ・大腸集団検診委員会
- ・子宮頸がん集団検診委員会
- ・骨健診検討委員会
- ・マンモグラフィ検診研究委員会
- ・前立腺がん検診検討委員会
- ・健康センター専門委員会

イ 外部精度管理調査

信頼される健診機関であるために、次の外部精度管理調査を定期的に受審し、精度の維持に努めた。

全国労働衛生団体連合会（総合精度管理調査）

長野県医師会（臨床検査精度管理調査）

結核予防会（胸部画像精度管理研究会）

公衆衛生協会（精度管理）

日本消化器がん検診学会（認定指導施設）

日本臨床細胞学会（認定）

日本乳がん検診精度管理中央機構（マンモグラフィ検診施設画像認定）

2 情報処理等事業

(1) 特定健康診査（個別医療機関健診分）結果処理等

市町村国保が作成する特定健診受診券の発行を代行する業務や、郡市医師会が実施している結果処理、健診費用の決済申請等の業務を市町村国保と郡市医師会から受託して実施した。

2023年度の処理件数は4月末到着時の件数であり、市町村国保と郡市医師会からの提出時期等の関係から、各年度概ね6月末に処理件数が確定する。

処理件数は、コロナ禍による医療機関での受診控えの影響が引続きあり、コロナ禍前の2019年度実績には達しておらず、4月末現在、前年度比較で283件減少している。

(件)

区 分	市町村国保	郡市医師会	2023年度	2022年度	前年度比較
受 託 数	38	17	55	55	100.00%
処理件数	75,298	6,396	81,694	81,977	99.65%

(2) 医療機関等実施検診結果処理

医療機関等の施設において実施した乳がん・子宮がん検診及びドック健診のデータ処理、結果通知書の作成・集計等の業務を市町村及び事業所から受託し実施した。

2023年度のドック健診の結果処理は、特定健康診査（個別医療機関健診分）結果処理等と同様に、4月末到着時の件数であり、委託元からの提出時期等の関係から、各年度概ね6月末に処理件数が確定する。

処理件数は、2022年度に公立学校共済組合のデータ作成業務が無くなったことにより大きく減少したが、胃内視鏡検診結果処理業務が増加したため、全体としては4月末現在、前年度比較で314件の減少となっている。

(件)

区 分		市町村数	2023年度	2022年度	前年度比較
乳がん検診	視触診・超音波	5	7,907	8,072	97.96%
	マンモグラフィ	12	5,676	5,858	96.89%
	小 計	17	13,583	13,930	97.51%
子宮頸がん検診		21	28,456	27,684	102.79%
ドック健診	ドック処理	—	7,229	7,741	93.39%
	データ作成	—	2,917	3,697	78.90%
	小 計	—	10,146	11,438	88.70%

胃内視鏡検診	14	3,535	2,982	118.54%
合 計	52	55,720	56,034	99.44%

3 健康センターにおける施設健診

長野健康センターと伊那健康センターで日帰り人間ドック等の施設健診を実施し、両健康センターの各種健診における受診者の合計数は、日帰り人間ドック、女性ドック、特定健診、定期健診で前年度より増加した。

また、職員の効率的な活用として施設健診の職員が巡回健診を実施するとともに、巡回健診で受診できなかった未受診者の健診を両健康センターで行った。

(人)

区 分	長野	伊那	2023年度	2022年度	前年度比較
生活習慣病予防健診	1,677	800	2,477	2,487	99.60%
日帰り人間ドック	2,117	1,509	3,626	3,442	105.35%
女性ドック（月2～3回）	187	34	221	177	124.86%
特定健診	11	2,091	2,102	1,903	110.46%
全国健康保険協会生活習慣病健診	3,530	1,563	5,093	5,653	90.09%
定期健康診断	3,962	1,980	5,942	4,931	120.50%
健診合計	11,484	7,977	19,461	18,593	104.67%
胸部ＣＴ（単項目）	1	1,170	1,171	1,167	100.34%
マンモグラフィ（単項目）	56	1,051	1,107	1,310	84.50%
乳腺超音波（単項目）	39	132	171	152	112.50%

Ⅲ 健康増進事業

1 特定保健指導事業

医療保険者からの委託により、支援対象者に対して特定保健指導を実施するため、保健師、管理栄養士が生活習慣全般の具体的な改善計画を立案し、生活習慣病の重症化予防のための支援をした。

実施人数は、長野・伊那健康センターで生活習慣病予防健診等を受診した特定保健指導対象者に対する健診当日の保健指導が減少したが、事業団で健診を実施している事業所からの新規受託や、医療保険者の加入者適応拡大に伴い実施数が増えた。

(人)

区 分	2023年度	2022年度	前年度比較
動機づけ支援	607	494	122.87%
健康センター健診当日	75	79	94.94%
積極的支援	845	730	115.75%
健康センター健診当日	39	48	81.25%
初回のための契約	333	332	100.30%
合 計	1,452	1,224	118.63%
受託団体数	16	17	94.12%

2 健康増進事業

(1) 健診終了後の栄養・運動・保健指導事業

市町村、事業所の委託を受けて健診の事後指導等を実施し、食生活、運動及び生活習慣の改善についてアドバイスを行い、健康の維持増進を図るよう支援した。

市町村・事業所実施回数 106回（参加人数2,185人）

(2) 健康づくり教室、セミナー等への講師派遣事業

市町村、事業所等の各種健康増進事業に保健師、管理栄養士、健康運動指導士を派遣し、地域や職域の健康づくりを支援した。

集団に対して実施する健康づくり教室・セミナーの依頼件数は、前年度に比べ減少したが、参加人数は増加した。

派遣回数 計169回（参加人数 3,849人）

- ・保健師 27回（参加人数1,132人）
- ・管理栄養士 57回（参加人数1,274人）
- ・健康運動指導士 85回（参加人数1,443人）

3 協力事業

松本大学人間健康学部に協力し、専門知識の情報交流を行い、栄養に関する指導現場の現状を伝える授業を受け持った。

IV 役員会

事業の実施状況等について報告するとともに、事業計画・予算、諸規程、運営上の諸案件等について審議するため、次の会議を開催した。

(1) 第1回理事会 2023年6月8日（木）事業団会議室

会議事項 2022年度事業報告

- 2022年度会計決算報告
 評議員会の招集
 就業規則の一部改正（案）
 資産取得資金積立計画の変更（案）
- （２）第２回理事会 2024年３月８日（金）事業団会議室
 会議事項 2024年度事業計画（案）
 2024年度損益予算（案）
 2024年度固定資産取得予算（案）及び資産取得金積立予算（案）
 諸規程の一部改正（案）
- （３）評議員会 2023年６月22日（木）事業団会議室
 会議事項 2022年度会計決算報告
 監査報告
 任期満了に伴う理事の選任
 評議員の選任
- （４）監事監査 2023年６月５日（月）事業団会議室
 2022年度事業及び決算監査

V その他

1 県有施設の管理受託

長野県から公衆衛生専門学校（伊那市）の管理事業を7,940千円で受託した。

2 経営の取り組み

短期事業計画として３年間（３年目）の詳細な実行計画を各所で定め実行管理し、健診の実施効率を高め、収支の改善を進めた。

3 リスクマネジメント活動

各所属でリスクマネージャーを選任し、かいぜんレポート・事故報告の収集と分析、業務の改善による事故等の予防のほか、安全かつ適切な健診の提供に努力した。

また、リスクマネジメント部会、事故予防対策委員会で、健診事業や事務事業の事故予防対策、改善内容の評価検討等情報の共有化に努めた。

個人情報保護管理については、個人情報保護マネジメントシステム（PMS）に基づき、個人情報の適切な取扱い、保護・管理に努めるとともに、管理職、監査員、新規採用職員、パート職員等の対象職種別教育研修の実施、監査員による課・所ごとの内部監査の実施等を通じて、対応レベルの向上を図り、自覚と責任に基づき、受託先や受診者等からの信頼度の向上に努めた。

また、従来より実施しているＩＣカードによる入退室管理に関し、機微な個人情報を

取り扱うセキュリティエリアへの入退室管理を強化した。

4 公益法人としての対応

主たる公益目的事業では県民の健康づくりに寄与するために精度の高い検診と、より良いサービスの提供に努めた。

また、普及啓発事業では、結核予防会と日本対がん協会の長野県支部としての役割を認識し、正しい知識の普及や新しい情報の発信等に努めた。

5 職員研修

事業団における職員全体研修は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から中止し、各課で実施した。